



今回は、**第1地区中部連合町内会の「ラジオ体操」**にお邪魔しました！

こどもから高齢者まで気軽に参加できるラジオ体操。健康づくりはもちろん、地域のふれあいの場としても注目されています。コロナ禍をきっかけに、その大切さが改めて見直されました。今回、第1地区中部連合町内会の多文化交流にもつながる、あたたかい活動の輪をご紹介します！



「なつやすみラジオたいそう」

日時 令和7年7月22日(火)～25日(金) 7時00分

場所 横浜市立横浜吉田中学校グラウンド

主催 第1地区中部連合町内会

スポーツ推進委員協議会・青少年指導員協議会

梅雨が明けた横浜

初日は、雲ひとつない夏空が広がる朝となりました。

花井会長のご挨拶の後、芦原会長による「みなさん、おはようございます！」「大家早上好！」「안녕하세요！」といった多言語での元気な声かけで、ラジオ体操がスタート。

参加者のみなさんは、ラジオ体操第2まで、元気いっぱいに体を動かしていました。

「地域のつながりづくり」ため、協力してラジオ体操を実施している方々にお話を伺いました。

第1地区中部連合町内会の花井会長と若葉町町内会の芦原会長

ラジオ体操を連合町内会としてみんなで一緒にやるようになって、今年でなんと20年を迎えました。

横浜吉田中学校がグラウンドを開放してくれているほか、地域ケアプラザや地区社会福祉協議会も参加して、地域のみなさんやこどもたちの「健康づくり」と「つながりづくり」を地域全体で応援しています。

「いろんな文化の人たちが交流できるように」「つながりの輪が広がっていくように」との思いを込め、多言語のチラシを作り、自治会町内会を通じて広くお知らせをしています。部活の朝練の前に参加してくれる中学生も増え、今年は、4日間で約450人の参加がありました。

そして、このラジオ体操、中区地域福祉保健計画「中なかいいネ！」の大切な活動のひとつとして位置づけているんですよ。



花井会長



芦原会長

横浜吉田中学校 亀井校長

横浜吉田中学校では現在、外国にルーツを持つ生徒が約半数在籍していますが、生徒たちは身近に外国にルーツを持つ生徒がいることを当たり前ととらえて接しており、その姿には自分自身も日々、学ばせてもらっています。「なつやすみラジオたいそう」は、横浜吉田中学校の生徒と地域の皆さんとの多文化交流やつながりが育まれる、とても良い取組だと思っています。

多言語での朝のご挨拶と、参加者される方・運営される方、みなさんの笑顔がとても印象的でした。取材の受け入れ、本当にありがとうございました！（K・T）



Lale バックナンバーは
こちらから ⇒⇒⇒

